

第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	2	ぬくもり・雄武	整理番号	18
基本施策	6	保健・医療の充実	評価 責任者	保健福祉課長 豊田 通敏
単位施策	1	主体的な健康づくりの促進		

1 施策の概要

基本方針	多くの町民が健康づくり活動に主体的に取り組めるよう、保健分野を軸に生涯学習・生涯スポーツ分野が連携して、様々な健康づくり事業を推進します。			
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）		
	健康増進法の理念に基づき、住民一人ひとりが自らの健康は自らつくるという意識を持ち、多くの住民が保健分野での運動教室の他、健康ふれあいセンターを増築し、年間を通して生涯スポーツなどの健康づくりのための施設を充実した。	住民一人ひとりが自ら主体的に疾病予防や健康づくりに取り組むことが重要であるとの認識に立ち、教育委員会や子育て支援センターとの連携により、乳幼児、女性、高齢者を対象とした各種健康事業のほか、町内学校と連携し児童生徒を対象とした健康教室を実施する等、幅広い年齢層を対象とした取り組みを進めている。		
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）		
	住民一人ひとりの健康づくりの実施に向け、保健分野を中心に乳幼児から成年層等他年齢層への取り組みを推進していくとともに保健分野での運動教室事業と教育委員会の生涯学習・生涯スポーツ分野との相互補完により施策効果を高める必要がある。	健康な体づくりは若年期からの心がけが重要であるが、10代後半から30代の年齢層における各種事業への参加が少なく、疾病予防や健康づくりに対する意識向上を図っていく必要がある。		

2 基本施策指標

指標	指標名	健康づくりの事業の参加人数					目標値（H29）
	定義等	保健施策事業の参加人数					
指標1	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標値						2,000人
	実績値		1,693人	1,908人	2,455人	2,499人	
指標2	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標3	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標4	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標5	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標6	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	歯科保健事業	保健係	519	A	継続/現状維持	A
②	食育推進事業	保健係	78	A	継続/現状維持	A
③	【再掲】地域支援事業（保健係分）	保健係	731	A	継続/現状維持	A
④	【再掲】女性の健康づくり支援事業	保健係	149	B	継続/現状維持	A
⑤	【再掲】社会体育団体活動費助成事業	生涯教育係	540	A	継続/現状維持	A
⑥	【再掲】スポーツ大会推進事業	生涯教育係	315	B	継続/現状維持	A
⑦	【再掲】スポーツ教室推進事業	生涯教育係	530	A	継続/現状維持	A
⑧	【再掲】スポーツイベント参加助成金	生涯教育係	127	A	継続/現状維持	A
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	各事業において個別相談に応じるなど自分の健康を自ら守るという意識付けのための各事業は目標の達成には欠かせないものである。
② 有効性	A	健康づくりに向けた各種事業への参加人数も増加してきており、着々と健康に対する意識の向上は図られていると判断される。歯科保健事業では保育所と小学校の児童を対象としたフッ化物洗口事業を進める準備が整った。今後も目標達成に向けて計画的に各種事業を進めていく必要がある。
③ 効率性	B	教育委員会や学校、子育て支援センターと共同で事業を実施するなど効率的に各事業を実施した。女性の健康づくり支援事業における受診率の向上を図っていく必要がある。
④ 公平性	B	保健分野の事業実施にあたっては、対象者へ広く周知を行い手法としては公平であったが、女性の健康づくり支援事業では結果として健診受診者が少ないことから、幅広い年齢層で受診者を増やす工夫が必要である。
⑤ 町民意見の反映	A	保健分野の乳幼児健診・健康相談時にアンケート等で住民の意見を聞き、事業等に反映させている。栄養改善教室等の実施後にアンケート調査を実施し、以降の事業実施に役立っている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
健康づくりは政策目標達成の根本であり欠かせないものである。引き続き幅広い年齢層への疾病予防、健康づくりの意識づけを進める。	同 左	

今後の方向性

継続/現状維持	継続/現状維持	
住民一人ひとりの健康づくりのため、関係課と連携し、アンケート結果などの町民意見からニーズを的確に捉え、それを反映させながら事業を継続していく。	同 左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止